

ささりんどう



学校教育目標

感動し 共に喜びあえる児童の育成

児童数
男子 157名
女子 160名
合計 317名

校章の笹竜胆（ささりんどう）は、箕田源氏の旗印です

鴻巣市立箕田小学校 学校がよりNo.12 令和3年 2月1日



縁を大切にして、絆を深める

校長 齋地 満

初雪も降るなど1年で一番寒い時期“大寒”となりました。北風の強い日は、子どもたちも背中を丸め、とても寒そうです。一方で2月は、立春を迎え、暦の上では春の始まりといわれています。これは、古代中国で考案された二十四節気を暦に取り入れ、季節の指標にしたからだそうです。ちなみに、現代の日本では、国立天文台の観測によって、立春を決めています。そのため、今年の立春は、2月3日となり、節分が2月2日となります。節分が3日でなくなるのは、昭和59年以来37年ぶり、2日になるのは明治30年以来124年ぶりのことです。

さて、昨年の大晦日をもって、国民的アイドルグループの“嵐”が活動休止となりました。嵐は、デビュー直前に、縁あって集められた5人でしたが、誰一人欠けることなく20年もの間、活動してきました。紅白歌合戦では、歌い終わった後にメンバーのリレーメッセージがありました。最後に松本さんの「僕たちの嵐は、一旦止みます。嵐が去った後に、虹のかかった美しい空が、どうか皆さんの前に広がりますよう。」という言葉聞いたときは、年甲斐もなく胸が熱くなりました。報道によるとリーダーの大野さんが「一度、自由な生活がしてみたい」とメンバーに相談し、互いを尊重し合い、全員が納得する方法を模索した結果、「5人でなければ、嵐ではない」という思いから活動休止に至ったそうです。また、「話し合う中で、絆が深まった。」とも語っていました。

子どもたちも、縁あって同じクラスになり、この1年を共に過ごしてきました。新しい生活様式の制限に我慢しながらも話し合い、工夫を重ね、楽しい思い出を作って、絆を深めてきました。一人一人が、かけがえのない仲間であり、お互いにとってかけがえのないクラスです。残り2カ月余りとなりましたが、元気で仲良く過ごせるように努めていきます。

また、ご縁をいただいて本校を支えてくださるボランティアの方々に感謝の念が絶えません。「箕田小の子どもたちのため」という思いから、暑い日も寒い日も天候にかかわらず、安全を守ってくださる安全パトロールの方々、読書の楽しさを伝えてくださる読み聞かせの方々、家庭科でのミシン補助や地域学習に付き添いをしてくださる学習ボランティアの方々、図書室をきれいにしてくださる図書ボランティアの方々、PTA役員の方々等、多くの方に支えていただき、よりよい学習環境を整えることができました。誠にありがとうございます。今年は、一堂に会してのありがとう集会はできませんが、お礼の気持ちを手紙にしたためてお届けするとともに、お会いした時に、感謝の気持ちを伝えられるよう子どもたちに語り掛けていきたいと思っております。

